

# ゴールド賞 大協青果株式会社

## 「野菜廃棄物の資源循環による脱炭素プロジェクト」

### ●取組概要

野菜流通に伴う廃棄ロス及び焼却によるCO2排出を名古屋大学小林研究室が開発した低温炭化技術（化学脱水触媒×180℃攪拌）により、生成する「バイオ炭」を土壌改良剤として活用し、野菜を生育・販売する循環型の脱炭素プロジェクト。

プロジェクト推進者である大協青果(株)は青果卸売業者の強みを活かし野菜廃棄物の回収、生育した野菜の販売を行う。同社の農場で「バイオ炭」による野菜の生育実証を行い、生育野菜の成分に好影響が認められている。

名古屋大学発スタートアップ企業の(株)クロスイーが低温炭化技術の提供を行い、名古屋大学はCO2削減効果を始めとする環境評価を行っている。

今後は、大協青果(株)の販売網を活かし、市民に身近な小売・飲食店や学校給食への提供を目指す。

### ●審査員評価ポイント

- 低温炭化技術を有する大学発スタートアップ企業とロス野菜を集約でき、農地を有する市内企業が互いに役割を補完し合っている。
- 一宮市内や他地域で取り組むことが難しくなく、成果物の野菜は市民に身近な商品であり、大きな波及効果が期待できる。

